

1975年農業センサスと比べ

農家数・面積ともに減少

—昭和51年果樹基本統計調査—

この調査は、10アール以上栽培農家調査票と10アール未満栽培農家調査票とに分かれて異なった調査項目があり、10アール以上栽培農家のみの結果表が多い。(統計表に表示。)

1 果樹栽培農家と果樹栽培面積

昭和51年7月1日現在で本県の果樹栽培農家数は、調査対象81市町村で21,920戸(うち10アール以上果樹栽培農家数は17,580戸(80.2%))であり、その果樹栽培面積は776,162アール(うち10アール以上果樹栽培面積は753,300アール(97.1%))となっている。

この果樹栽培面積を果樹種類別にみると、くりが568,295アールで全果樹種類の73.2%を占めている。次いで日本

なしの125,462アール(16.2%)となっており、この2果樹種類で全種類の約9割を栽培したこととなった。次にかき27,580アール(3.6%)、うめ23,691アール(3.1%)、ぶどう17,268アール(2.2%)、温州みかん5,899アール(0.8%)、りんご4,224アール(0.5%)等となっている。

又1975年農業センサスに比べると、果樹栽培農家数は6.4%の減少(全国平均6.3%減少)であり、その果樹栽培面積は6.5%の減少(全国平均3.5%減少)となっている。

面積の減少率が高い果樹種類をみると、その他の果樹種類を除いてはうめが27.7%減少と最も多く、次いでかき19.3%減少、りんご17.5%減少、温州みかん11.2%減少、くり5.0%減少となっており、日本なしは、ほぼ横ばいであり、ぶどうのみが3.1%の増加となった。

表-1 果樹栽培農家数と面積

単位：戸、アール、%

果樹種類	今回調査			1975年農業センサス		増減率	
	農家数	面積	構成比	農家数	面積	農家数	面積
茨城県計	21,920	776,162	100.0	23,410	829,734	△ 6.4	△ 6.5
く り	15,353	568,295	73.2	16,009	598,283	△ 4.1	△ 5.0
日本なし	3,749	125,462	16.2	3,980	125,986	△ 5.8	△ 0.4
か き	1,521	27,580	3.6	1,693	34,186	△ 10.2	△ 19.3
う め	2,307	23,691	3.1	2,632	32,755	△ 12.3	△ 27.7
ぶ ど う	604	17,268	2.2	619	16,745	△ 2.4	3.1
温州みかん	377	5,899	0.8	420	6,640	△ 10.2	△ 11.2
りんご	117	4,224	0.5	155	5,118	△ 24.5	△ 17.5
その他の果樹		3,743	0.5		10,021		△ 62.6
全国計	835,200	31,330,000		891,400	32,466,000	△ 6.3	△ 3.5

注：1農家で複数の果樹を栽培している場合もあるので、総数と果樹種類毎の積み上げ数は一致しない。

2 世帯員と果樹栽培従事者(果樹園面積10アール以上栽培農家のみ)

果樹栽培面積10アール以上栽培農家の世帯員数は84,295人である。うち果樹経営に従事した人は39,954人(47.4%)であり、うち男20,112人、女19,842人となっている。従

事日数区別では29日以下が22,391人(56.0%)となっている。年齢区別では30～49歳までが16,735人であり、50～64歳までが13,548人で果樹経営に従事したとなっている。この2階層で75.8%を占めている。雇入労働では雇入農家数が1,419戸でその雇入日数は39,947日となっ

ている。うち雇用労働が31,257日で全雇入の78.2%を占めている。次いで手伝い 5,301人(13.3%), ゆい, 手間替え 3,389日(8.5%)となっている。

表-2 果樹経営従事世帯員数と構成比(日数区分別)

単位:人, %

区分	計	29日以下	30~59	60~99	100~149	150日以上	
計	実数	39,954	22,391	7,905	3,710	2,301	3,647
	構成比	100.0	56.0	19.8	9.3	5.8	9.1
男	20,112	10,980	3,909	1,912	1,235	2,076	
女	19,842	11,411	3,996	1,798	1,066	1,571	

注:果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

表-3 果樹経営従事世帯員数と構成比(年齢区分別)

単位:人, %

区分	計	15~29歳	30~49	50~64	65歳以上	
計	実数	39,954	4,556	16,735	13,548	5,115
	構成比	100.0	11.4	41.9	33.9	12.8
男	20,112	2,600	8,023	6,532	2,957	
女	19,842	1,956	8,712	7,016	2,158	

注:果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

3 果樹栽培状況

(1) くり <568,295アール>

全果樹種類の73.2%を占めるくりは、美野里町、千代田村、茨城町、出島村、八郷町の順であり、この5町村で45.1%を占め、平坦地が87.4%を占める。又1戸当たりの栽培面積は43.4アールとなっている。

(2) 日本なし <125,462アール>

関城町、千代田村、下妻市、八郷町、八千代町の順であり、この5町村で61.4%を占め、平坦地が91.4%を占める。又1戸当たりの栽培面積は43.4%となった品種別栽培面積では長十郎が55.1%を占め、幸水24.4%、豊水・新水11.3%、二十世紀 1.0%、その他の日本なし 8.2%となった。

(3) かき <27,580アール>

八郷町、千代田村、玉里村、新治村の上位新治郡の

4町村で、67.6%を栽培した。1戸当たりの栽培面積は21.6アールとなっており、平坦地が63.0%を占め、緩傾斜地が31.7%を占める。品種別栽培面積では富有・次郎が90.3%と多くを占め、その他の甘柿 8.3%、渋柿 1.4%となった。

(4) うめ <23,691アール>

最も多い総和町でも 3.3%と少なく、鹿行地域を除き、全県下に渡って栽培されている。1戸当たりの栽培面積は15.2アールとなっており、平坦地が85.1%、緩傾斜地12.3%となった。

(5) ぶどう <17,268アール>

常陸太田市、岩井市、八郷町、結城市、日立市の順であり、1戸当たりの栽培面積は31.7アールとなっている。又平坦地が80.6%、緩傾斜地16.5%を占めている。品種別では巨峰を63.1%栽培し、テラウェア14.2%、マスカットベリーA 6.8%、キャンベルアーリー-6.5%、その他のぶどう9.4%となった。

(6) 温州みかん <5,899アール>

八郷町が34.7%と最も多く、真壁町、筑波町、十王町、大和村の順であり、地形別栽培面積では他の果樹種類と異なり、緩傾斜地が38.1%、段畑37.9%、急傾斜地14.9%を占め、平坦地はわずか 9.1%となった。又1戸当たりの栽培面積は21.1アールである。品種別栽培では早生温州が79.5%を占め、普通温州は20.5%となった。

(7) りんご <4,224アール>

栽培市町村17のうち大子町が 3,119アール(73.8%)と大きく栽培した。1戸当たりの栽培面積は42.3アールであり、平坦地が65.7%、緩傾斜地24.9%となっている。品種別栽培ではデリシャス系26.8%、ゴールデンデリシャス15.8%、ふじ12.8%、陸奥 6.6%、紅玉 5.8%、祝・旭2.8%、つがる0.8%、国光0.5%、印度 0.4%その他のりんご27.7%となった。

■調査から

表－４ 上位５市町村が占める種類別果樹栽培面積

単位：アール，％

く り			日 本 な し			か き		
市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比
計	568,295	100.0	計	125,462	100.0	計	27,580	100.0
美野里町	65,519	11.5	関城町	23,602	18.8	八郷町	9,576	34.7
千代田村	52,890	9.3	千代田村	16,827	13.4	千代田村	3,990	14.5
茨城町	49,773	8.8	下妻市	16,209	12.9	玉里村	2,754	10.0
出島村	44,270	7.8	八郷町	13,082	10.4	新治村	2,311	8.4
八郷町	43,658	7.7	八千代町	7,324	5.9	岩間町	1,420	5.1
その他	312,185	54.9	その他	48,418	38.6	その他	7,529	27.3

う め			ぶ ど う			温 州 み か ん		
市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比	市 町 村	面 積	構成比
計	23,691	100.0	計	17,268	100.0	計	5,899	100.0
総和町	783	3.3	常陸太田市	2,972	17.2	八郷町	2,446	34.7
水戸市	767	3.2	岩井市	1,041	6.0	真壁町	1,028	14.5
筑波町	677	2.9	八郷町	858	5.0	筑波町	750	10.0
那珂町	673	2.8	結城市	849	4.9	十王町	654	8.4
岩井市	657	2.8	日立市	757	4.4	大和村	223	5.1
その他	20,134	85.0	その他	10,791	62.5	その他	798	27.3

４ 10アール当たりの植栽本数（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

10アール当たりの植栽本数別面積を構成比でみると10アール当たりの植栽本数が少ない果樹種類はぶどうとりんごであり、1～19本植栽層が最も多く、次いで20～39本植栽層となっている。又10アール当たりの植栽本数が

多い果樹種類はみかんであり、100～149本植栽層が最も多く、次いで80～99本植栽層となっている。くり、うめ、かきについては20～39本植栽層が多く、次いで40～59本植栽層となっている。日本なしは40～59本植栽層が多く、次いで60～79本植栽層となっている。

表－５ 10アール当たりの植栽本数別面積構成比

単位：％

種 類	1～19本	20～39	40～59	60～79	80～99	100～149	150～199	200本以上
く り	11.3	49.1	30.9	6.9	0.9	0.6	0.1	0.2
日 本 な し	0.6	21.3	41.3	35.3	1.2	0.3	0.0	0.0
う め	8.2	46.6	29.9	10.5	3.0	1.5	0.3	0.0
か き	4.6	40.1	33.2	19.7	1.3	1.0	0.1	0.0
ぶ ど う	73.1	23.1	3.0	0.5	0.1	0.2	0.0	0.0
温 州 み か ん	0.2	2.7	7.3	16.9	21.2	41.3	7.7	2.7
り ん ご	59.3	35.7	3.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

5 施設及び農用機械の利用（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

スピードスプレヤーを利用した農家は1,921戸であり、

定置配管を利用した農家は543戸であった。うち薬剤散布に使用した定置配管は410戸(75.5%)、散水専用は80戸(14.7%)、多目的利用は53戸(9.8%)となっている。

表-6 施設及び農用機械の利用農家数

単位：戸、%

区分	定置配管			スピードスプレヤー
	多目的利用	薬剤散布用	散水専用	
実数	53	410	80	1,921
構成比	9.8	75.5	14.7	

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

6 出荷量（果樹園面積10アール以上栽培農家のみ）

収穫量に対して出荷割合の大きい種類は日本なしであり97.2%が出荷されている。ぶどうは95.8%、かき95.2%、りんご95.1%、くり94.0%、温州みかん87.0%、うめ78.4%となった。出荷先別割合で見るとくりは集出荷

業者が約半数を取扱っており、日本なしは出荷組合が半数をこえる。かきは農協と出荷組合の取扱いが多く、うめは直販・その他と集出荷業者が多い。ぶどうは直販・その他と出荷組合で64.1%を占める。温州みかんとりんごは直販・その他が多く、次に観光販売が多い。

表-7 出荷量と出荷先別構成比

単位：kg、%

果樹種類	収穫量の出荷割合	出荷量	出荷先別割合				
			農協	出荷組合	集出荷組合	観光販売	直販・その他
くり	94.0	6,776,358	29.1	10.0	49.5	0.6	10.8
日本なし	97.2	28,914,654	31.3	52.3	8.1	1.1	7.2
かき	95.2	1,172,074	39.0	30.1	16.5	1.0	13.4
うめ	78.4	126,057	17.1	6.3	29.1	0.0	47.5
ぶどう	95.8	830,540	6.9	26.7	19.7	9.3	37.4
温州みかん	87.0	308,500	1.3	5.2	12.5	38.1	42.9
りんご	95.1	421,900	0.7	1.6	3.8	23.2	70.7

注：果樹栽培総面積10アール以上の農家のみ。

(県統計課 農林統計係)